

「議論すべきポイント」へのコメント(森川)

●供給サイド

- デジタル化投資, 労働の質 (= 人的資本投資)
- 規制・ルール, 過剰コンプライアンス (捺印問題を含む)
- 在宅勤務の生産性

●需要サイド

- Go Toキャンペーン?
- 時間使用パタンの柔軟化 ⇒ 三密回避 + 稼働率向上

●新陳代謝

- 雇用調整助成金, 持続化給付金, 資金繰り支援策など ⇒ 短期と中長期のトレードオフ

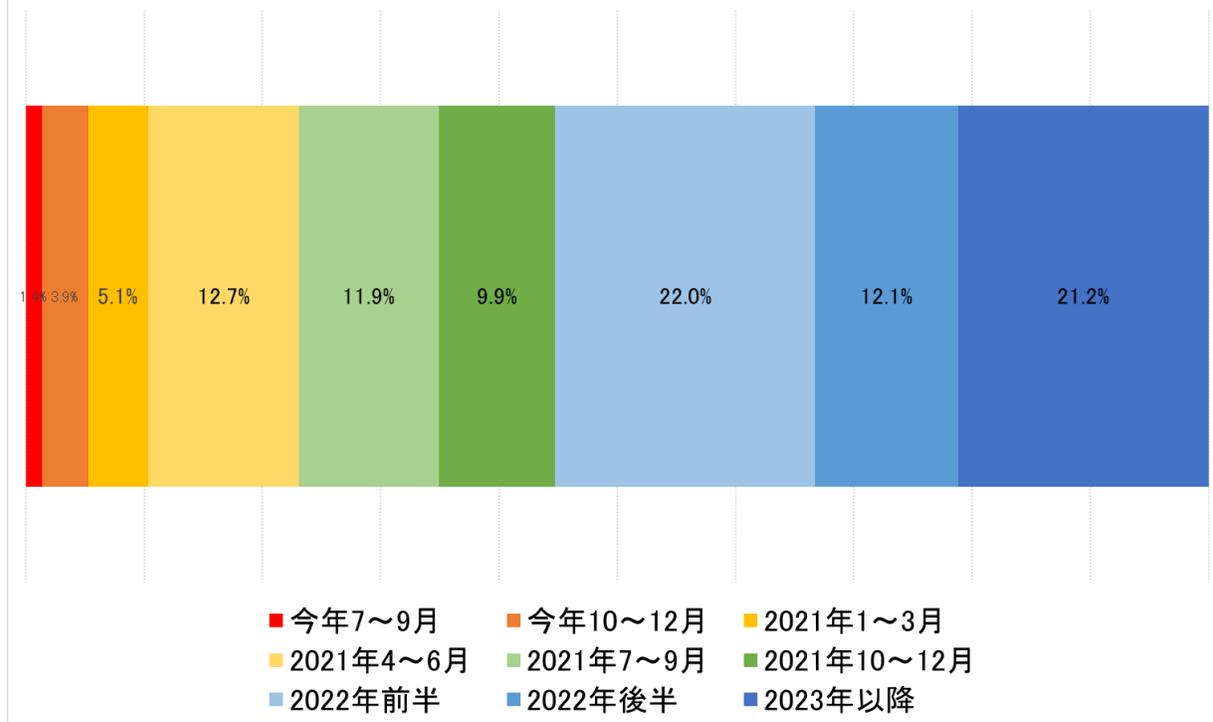
●KPI

- 政策効果の検証 (IT補助金など)

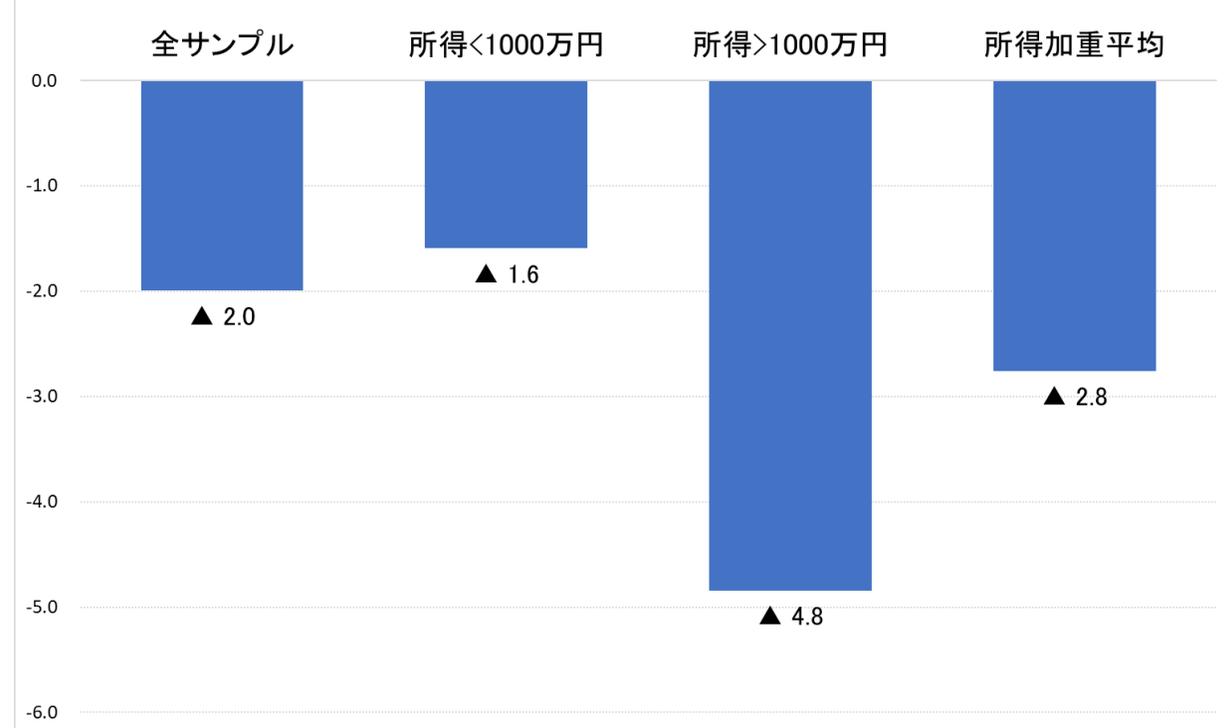


新型コロナ:最近の個人サーベイから

新型コロナウイルス感染症の終息時期の予想



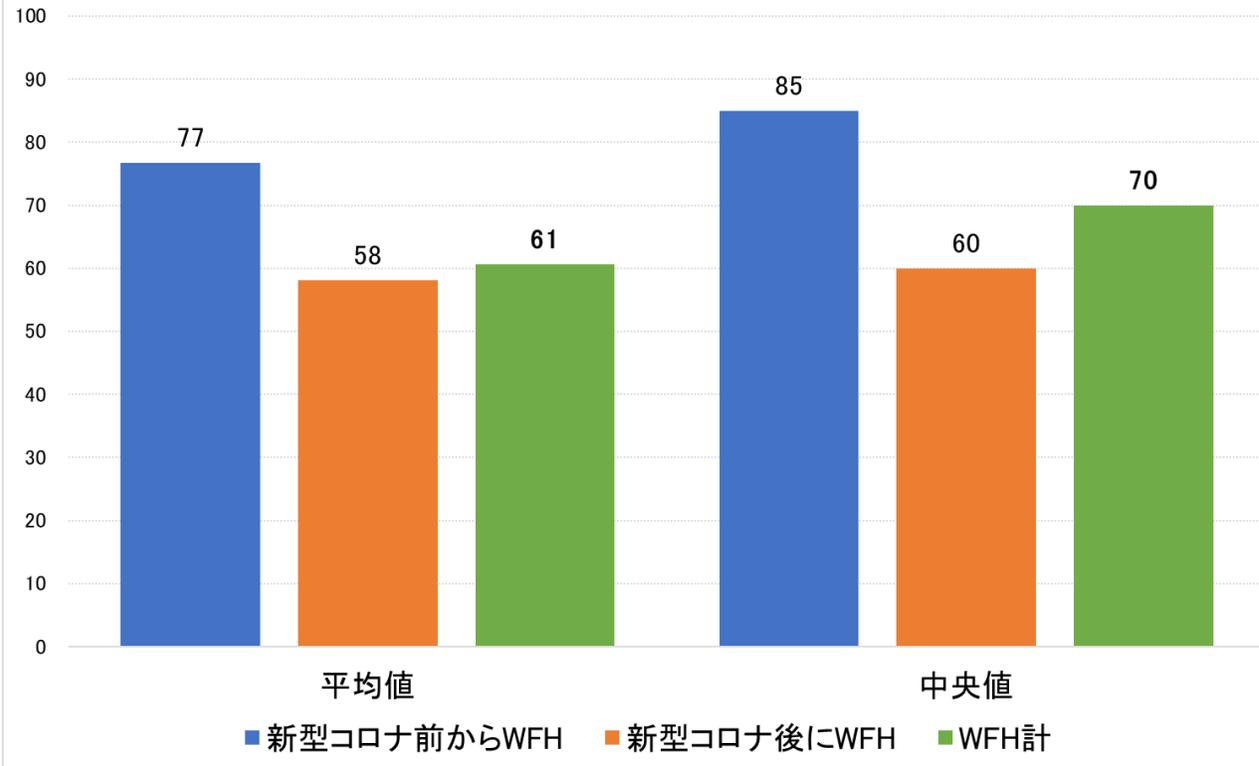
「緊急事態宣言」下の消費 (%)



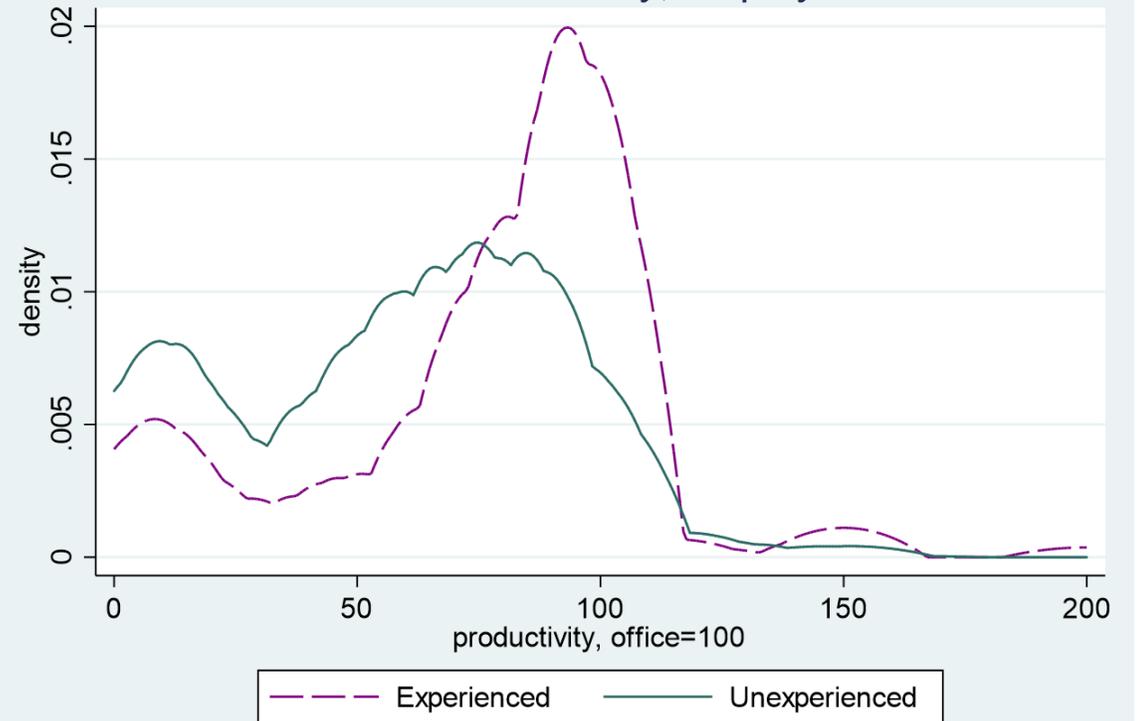
(注)「経済の構造変化と生活・消費に関するインターネット調査・フォローアップ調査」(RIETI)より作成。2020年6月下旬に実施。N=5,105人。

在宅勤務の生産性

在宅勤務(WFH)の生産性(職場=100)



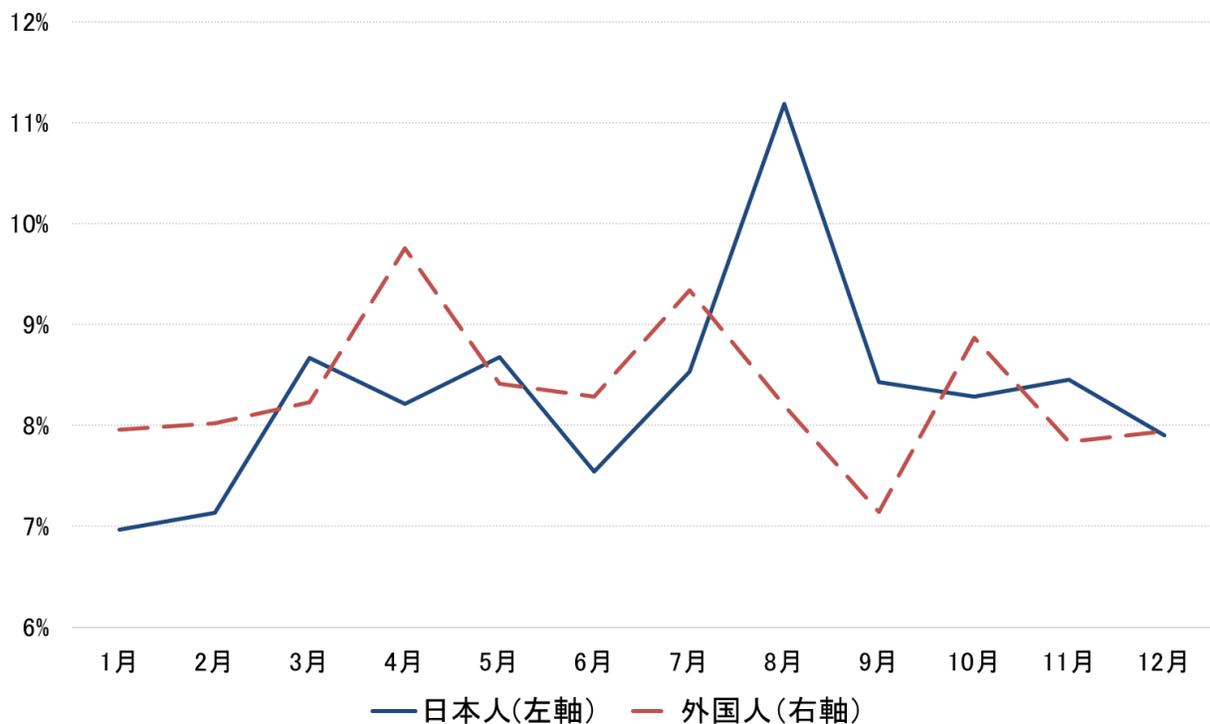
WFH Productivity, Employee



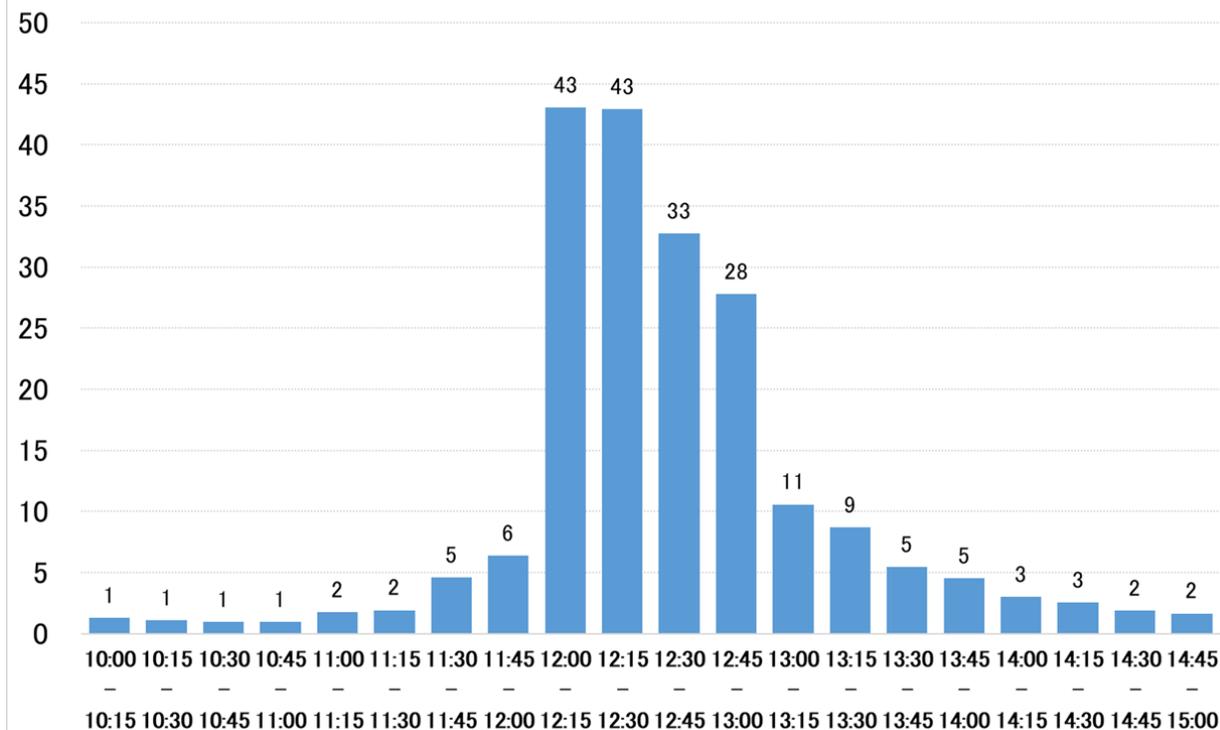
(注) 森川正之 (2020). 「コロナ危機下の在宅勤務の生産性: 就労者へのサーベイによる分析」, RIETI Discussion Paper, 20-J-034.
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/20070006.html>

宿泊業・飲食業への影響をどう軽減するか？

日本人・外国人宿泊者の月別構成比



昼食時間の分布(「社会生活基本調査」, 2016年)



(注) 森川正之 (2020). 「宿泊業・飲食サービス業への新型コロナの影響をどう軽減すべきか?」, RIETIコラム.
https://www.rieti.go.jp/jp/columns/a01_0610.html